

令和6年度(2024年度) 第2回 河川工作物AP会議

「サシルイ川治山ダムの改良について
・効果検証(モニタリング)」

令和7年(2025年)1月28日



北海道

水産林務部林務局治山課
根室振興局林務課

1 現在までの対応状況

(1) 令和4年度に石組みによる魚道の改良工事を実施

石組みによる魚道及び減勢工の設置、本堤及び副堤の放水路断面修正。

(2) 令和5年度に改良工事の効果検証調査としてサケ科魚類のモニタリング調査を実施

ア カラフトマスの産卵床

第1治山ダム上流で確認された産卵床の割合は、改良前とほぼ同様の値であり、カラフトマスに対しては、改良後の魚道が有効に機能していると評価。

イ サケの産卵床

第1治山ダム上流で確認された産卵床の割合は、改良前の1/3以下に減少、サケの遡上が回復するよう、再改良を検討する。



2 再改良の方針(第1回AP会議での提案)

(1) 折り返し部分からの狭隘な遡上経路

→本堤側の既設コンクリートを15～27cm削り、
魚道を30～40cm程度へ拡幅。

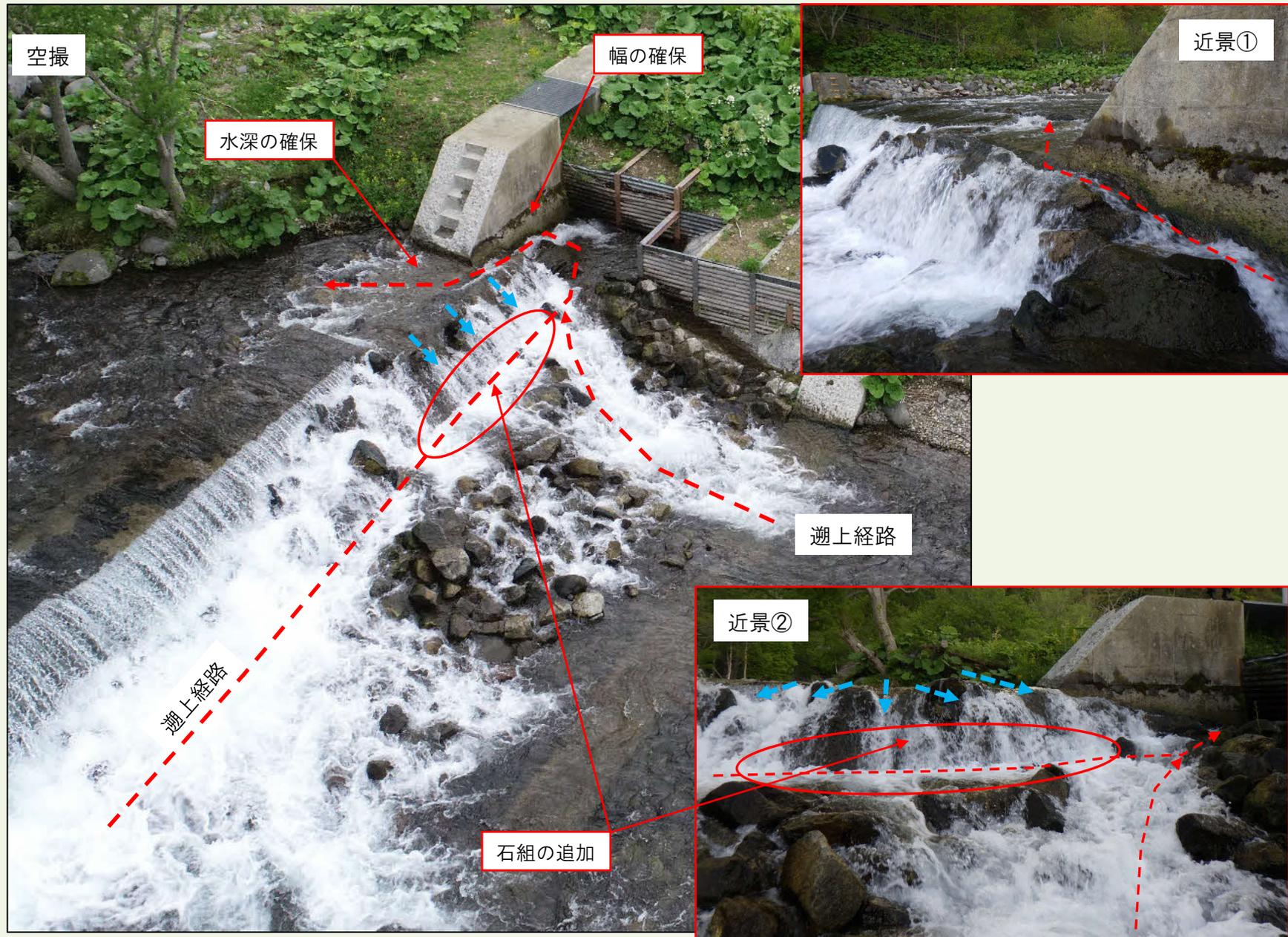
(2) 遡上後の水深の確保

→本堤天端部分はR4工事で20cmの一部切り下げを
行っているが、追加で部分的な切欠きを実施。

(3) 越流水により生じる気泡や遡上経路に対する横の流れ

→越流水が落下する部分に、石組みを追加し緩和させる。

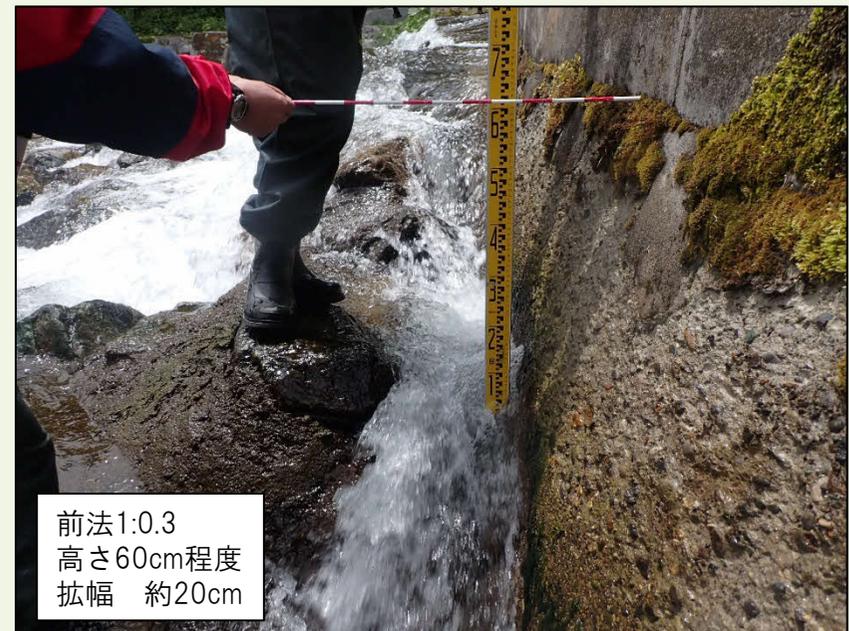
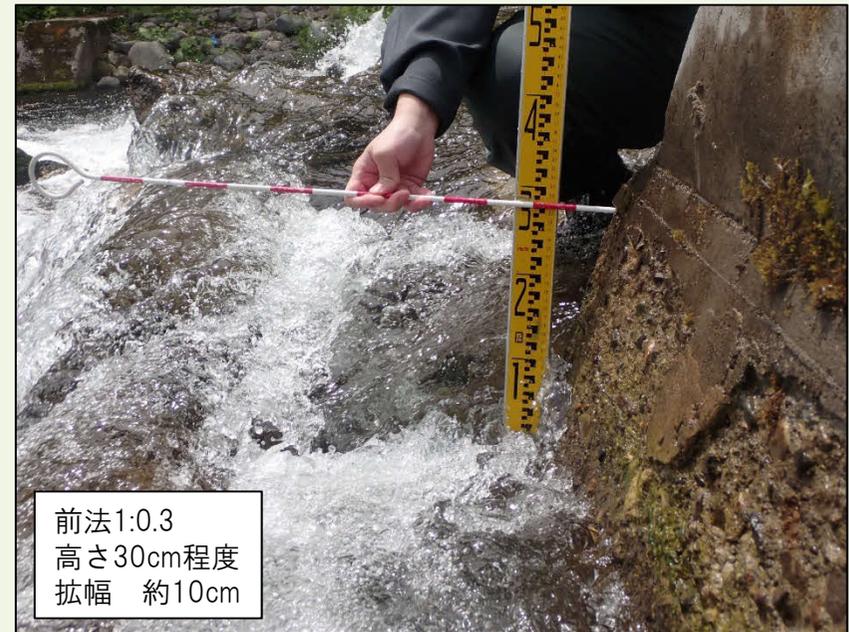
改良工事施工前(全景)



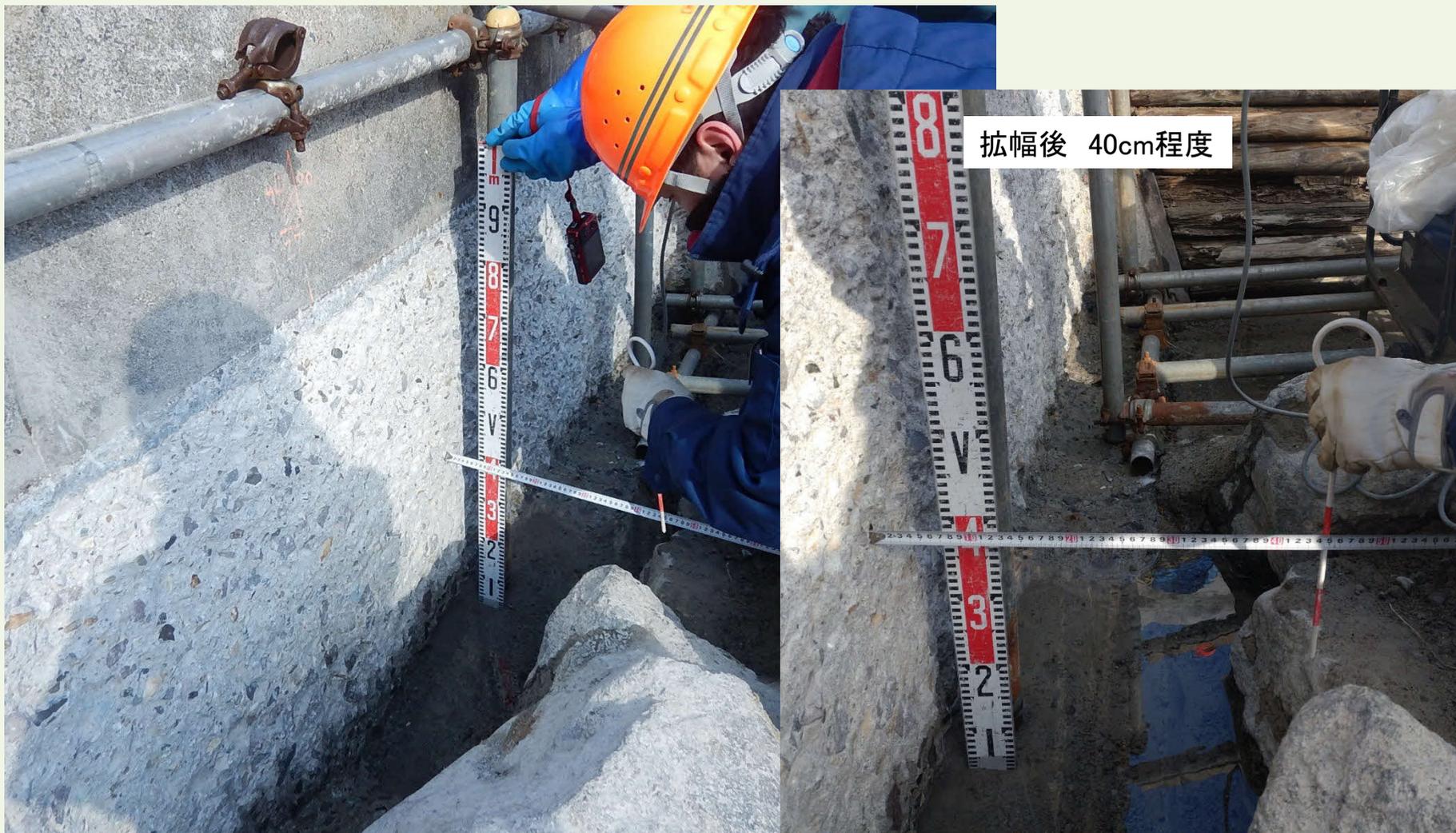
3 改良工事の実施状況

項 目	工事内容
工 事 名	・令和6年度 サシルイ川 小規模治山工事
工事場所	・北海道 目梨郡 羅臼町 海岸町
工事期間	・令和6年10月25日から 令和7年3月27日まで
工事内容	・第1治山ダムのコンクリート取り壊し、放水路切り欠き、石組みの追加による魚道改良
工事受注者	・小川建設 株式会社

コンクリート取壊し(施工前)



コンクリート取壊し(施工後)



放水路切欠き(施工前)



放水路切欠(施工後)



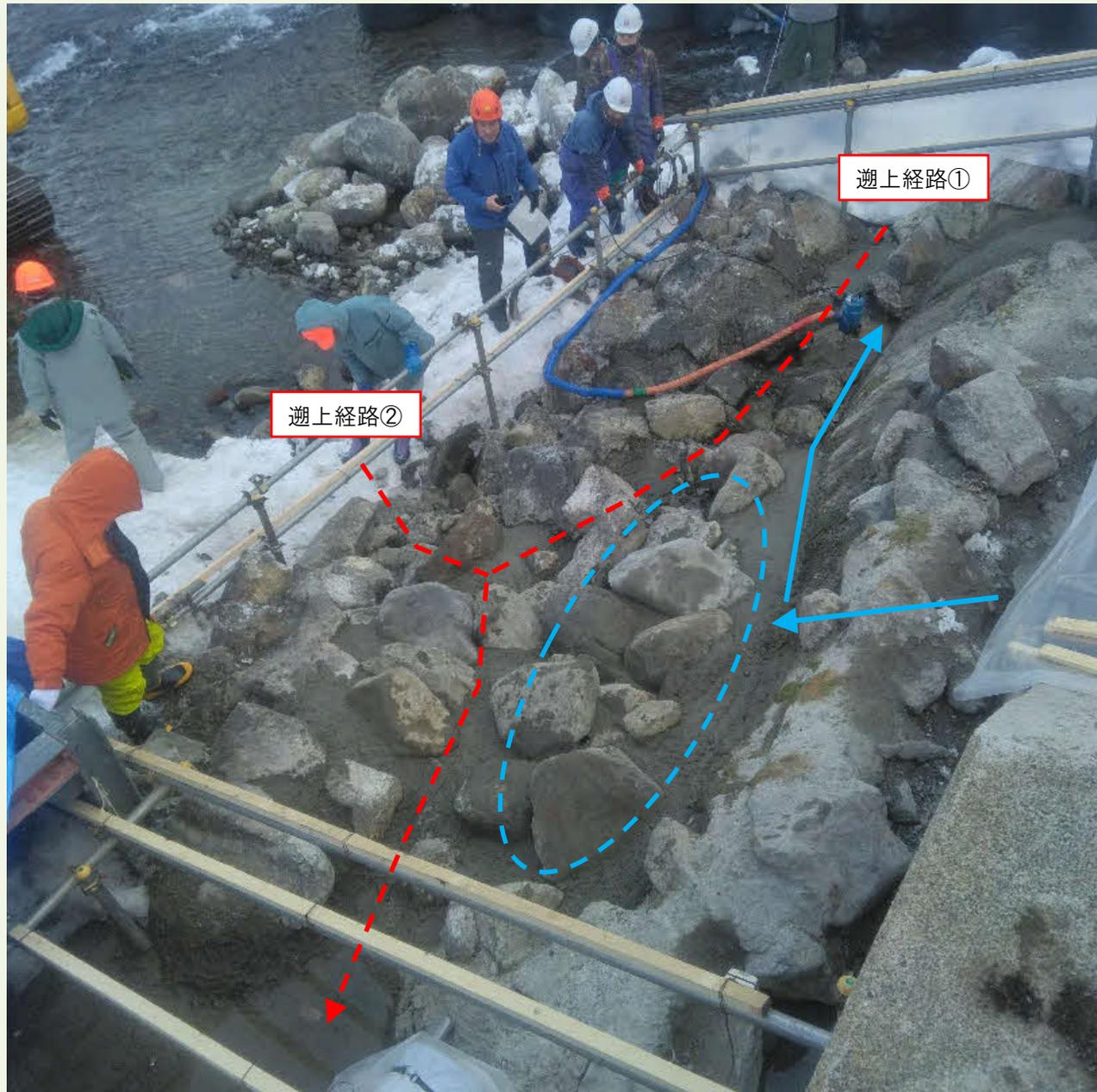
切欠き高 30cm



石組状況(施工前)



石組み状況(施工後)



4 令和6年度モニタリング結果

(1) サケの調査結果

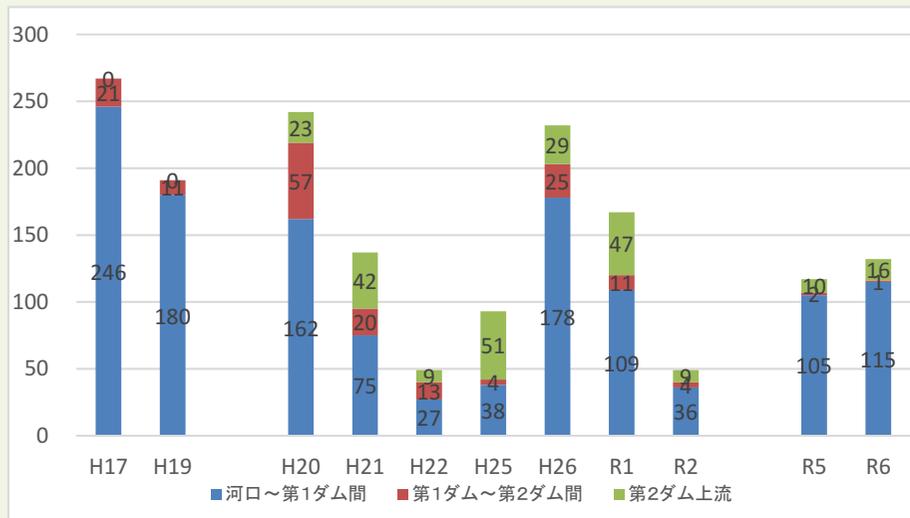
《産卵床割合》第1治山ダム上流状況

再改良以前の調査結果(H20~R2) : 35.5%

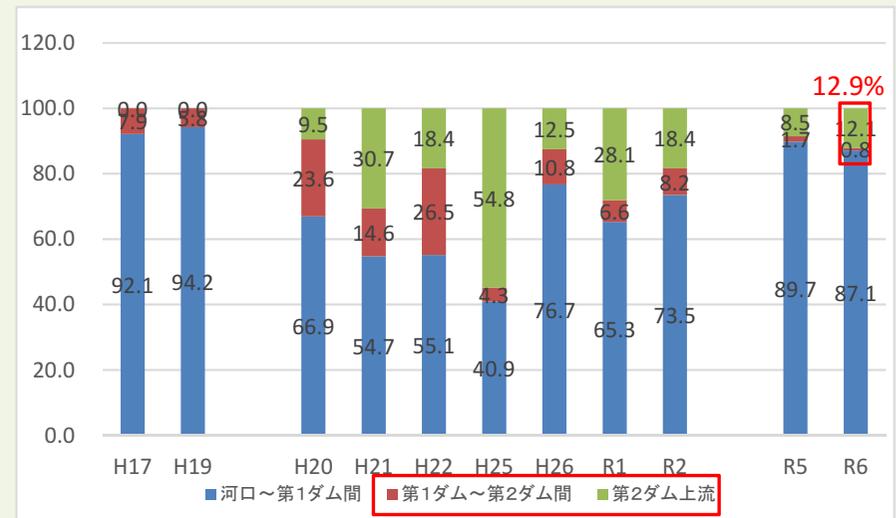
再改良後の調査結果(R6) : 12.9% ((R5) : 10.2%)

【参考】令和5年度の調査回数は6回。令和元年度は9回、令和2年度は6回

《産卵床数》



《産卵床割合》



(2)カラフトマスの調査結果

《産卵床割合》第1治山ダム上流状況

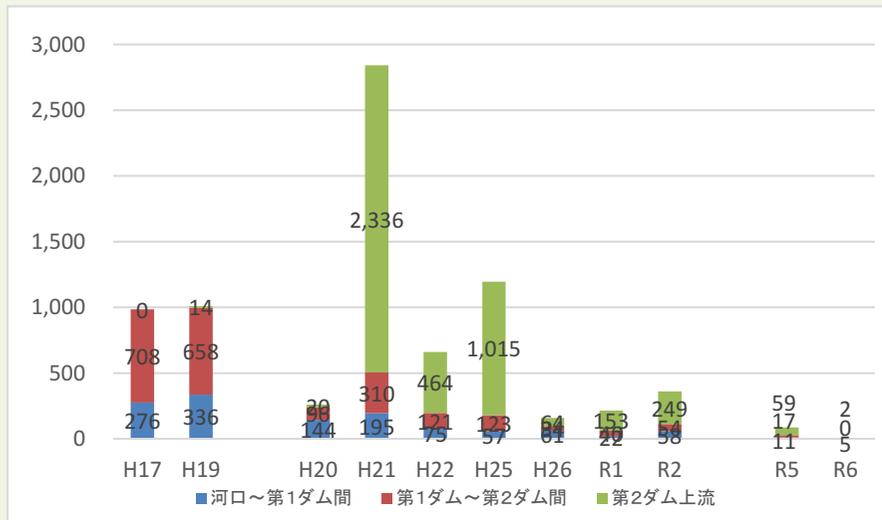
再改良以前の調査結果(H20～R2) : 89.2%

再改良後の調査結果(R6) : 28.6% ((R5) : 87.4%)

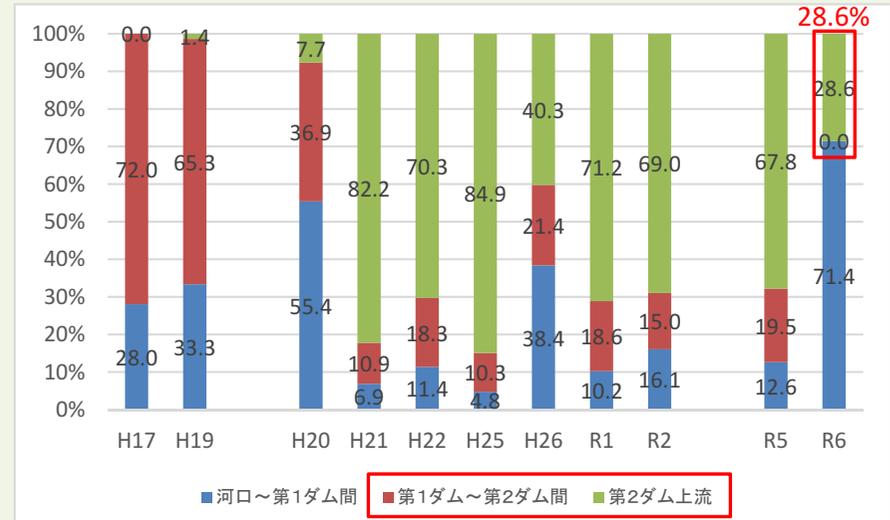
※全体の産卵床数がR5:87床に対してR6:7床と極端に少なかったため
遡上効果を判断することは困難。

【参考】令和5年度の調査回数は6回。令和元年度は9回、令和2年度は6回

《産卵床数》

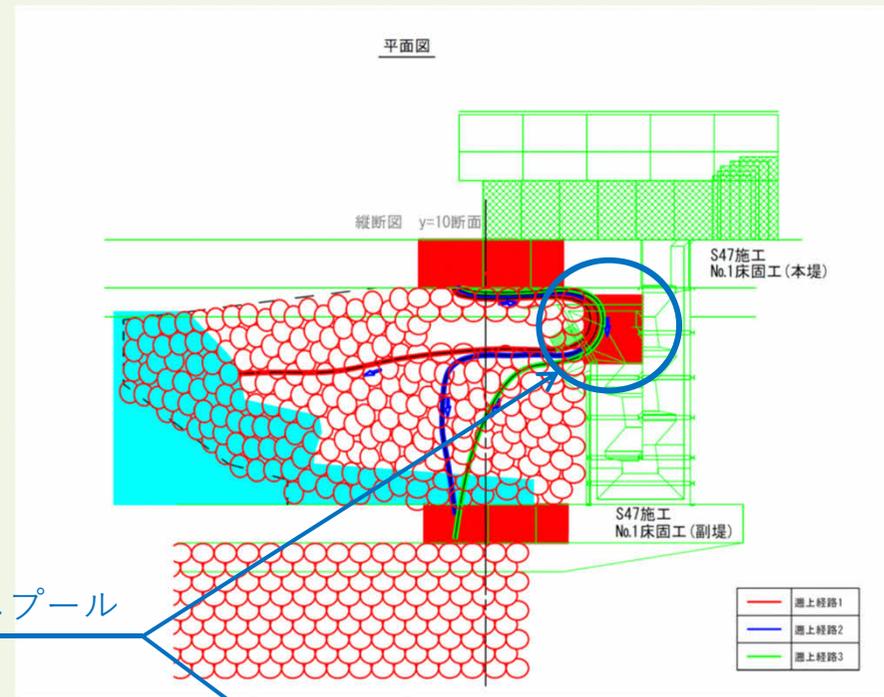


《産卵床割合》

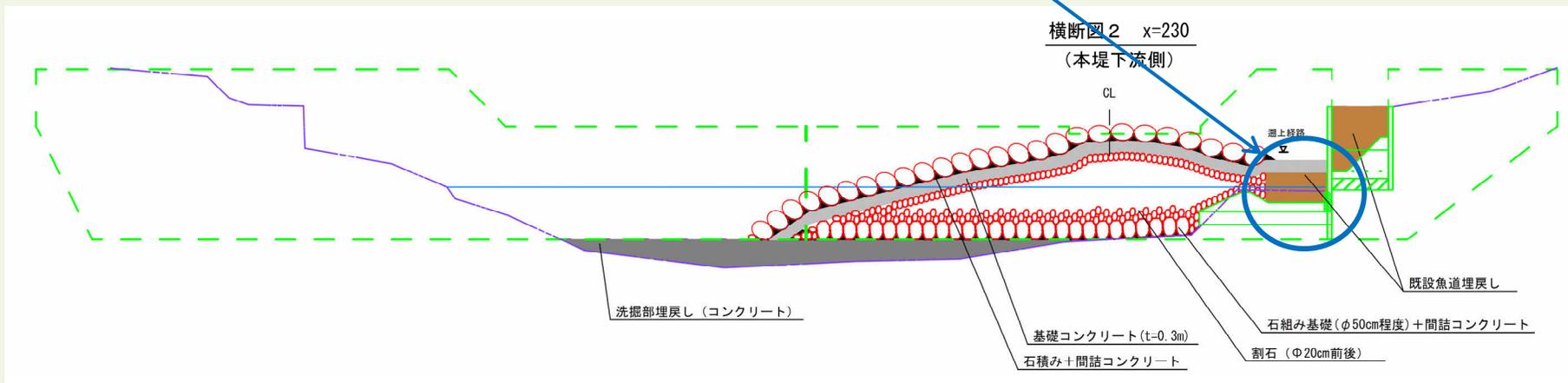


(3) 魚道折り返し部分プールへの土砂堆積について

令和6年5月30日現況写真(堆積なし)



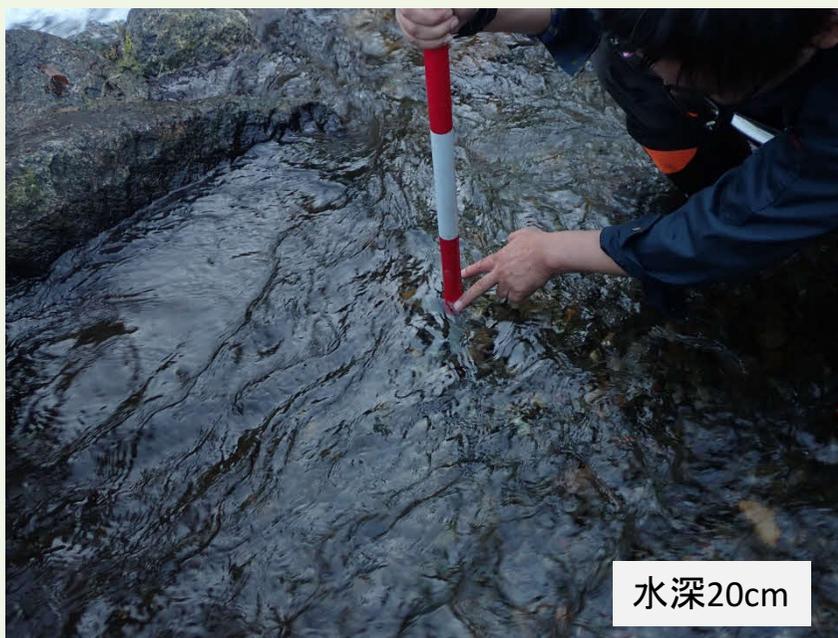
折り返しプール



令和6年11月18日現況写真



堆積していた土砂



水深20cm